

平成 21 年 5 月

関係者各位

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会
財団法人 日本住宅・木材技術センター

伝統的構法の雨水防水（雨仕舞い）仕様・工法の 調査協力をお願い

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、住宅瑕疵担保履行法の施行により、新築住宅において保険又は供託が義務付けられ、多くの事業者の皆様は保険を採択されることと思えます。

保険加入に際して、対象住宅は木造軸組工法（在来工法）を想定した雨水防水の設計施工基準が適用されます。しかし、この基準がそのまま適用できない伝統的構法の仕様・工法については、個別に基準の適用を除外する為の審査が行われ、通常よりも長い審査時間を要しております。

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会及び財団法人 日本住宅・木材技術センターでは、伝統的構法住宅に対応した雨水防水（雨仕舞い）の仕様・工法について、体系的な情報収集と調査を進めております。雨水防水（雨仕舞い）の一定性能が確保された仕様・工法をリストアップし、これらのリストと同様と判断される仕様・工法については、保険加入の際に基準の適用除外審査が免除され、手続きの迅速化・円滑化が図られます。

つきましては、伝統的構法の雨水防水（雨仕舞い）の仕様・工法の整理と分析をするにあたり、棟梁・大工並びに事業者の皆様へ、現在採用している仕様・工法の具体的な内容の記載のご協力をお願い申し上げます。

何かとご多用中のところ大変恐縮ですが、別紙調査シートの雨水防水（雨仕舞い）の仕様・工法に関するアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご記入いただいた調査シートは、**平成 21 年 6 月 20 日**までに同封の返信用封筒で当センターにお戻しいたさますようお願い申し上げます。

謹白

【問い合わせ先】

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19

アドレスビル 4 階

財団法人 日本住宅・木材技術センター
企画技術部 櫻井 原田 鈴木

TEL: 03-3589-1793 FAX: 03-3589-1766

このアンケートでお預かりしました大切な個人情報を、同意された目的以外には一切使用いたしません。第三者へ提供・開示することもいたしません。又、個人情報の取り扱いについて御不明な点やお気づきの点がありましたら、お問い合わせください。

雨水防水調査協力についての留意事項

1) 調査地域

伝統的構法は、それぞれの気候や風土において培われた構法であり、その仕様・工法が地域によって異なります。よって、地域性を考慮した仕様・工法を収集・分析するために、本調査は日本全国を調査対象地域とします。

2) 調査対象

保険加入に際して、対象住宅には保険法人の設計施工基準（木造軸組工法を想定）が適用されます。この設計施工基準に適合しない場合、基準の適用を除外する手続きを行なう必要があります。伝統的構法で基準適用が除外される項目は、以下の表のようなものが考えられています。

また、既に保険法人の審査を受けて、基準の適用を除外する手続きを受けた事例についても調査対象とします。

雨水防水の調査対象の例

防水部位	本調査対象の例
屋根	茅葺き、皮葺き、板葺き、瓦葺き注1) 等
外壁	板張り、土壁塗り、漆喰塗り等
その他	木製サッシ、木製建具等

注1) 屋根の瓦葺きは「木造住宅工事仕様書 住宅金融普及協会発行」等の一般的な木造軸組工法の雨水防水の仕様や納まりと異なるものを対象とします。(例：下葺きがこけら葺きの場合など)

3) 記入方法

同封の調査シートに、住宅の設計・施工に際して実践している雨水防水（雨仕舞い）の仕様・工法についてご記入ください。図面・写真等はシートのご記入以外に別添でも構いません。

雨水防水（雨仕舞い）の仕様・工法について、事例が複数ある場合には調査シートをコピーしてご記入下さい。

なお、ご回答いただいた内容に関しまして、より詳細な仕様・工法についてのヒアリングや、参考資料等のさらなるご提供をお願いする場合がございますので、その良否について、調査シートの末尾に設けたチェック欄にご記入くださいますようお願い致します。

4) 謝礼

上記本調査へのご協力に対して、雨水防水（雨仕舞い）の仕様・工法の調査協力1件につき壱万円の謝礼をお支払い致します。